

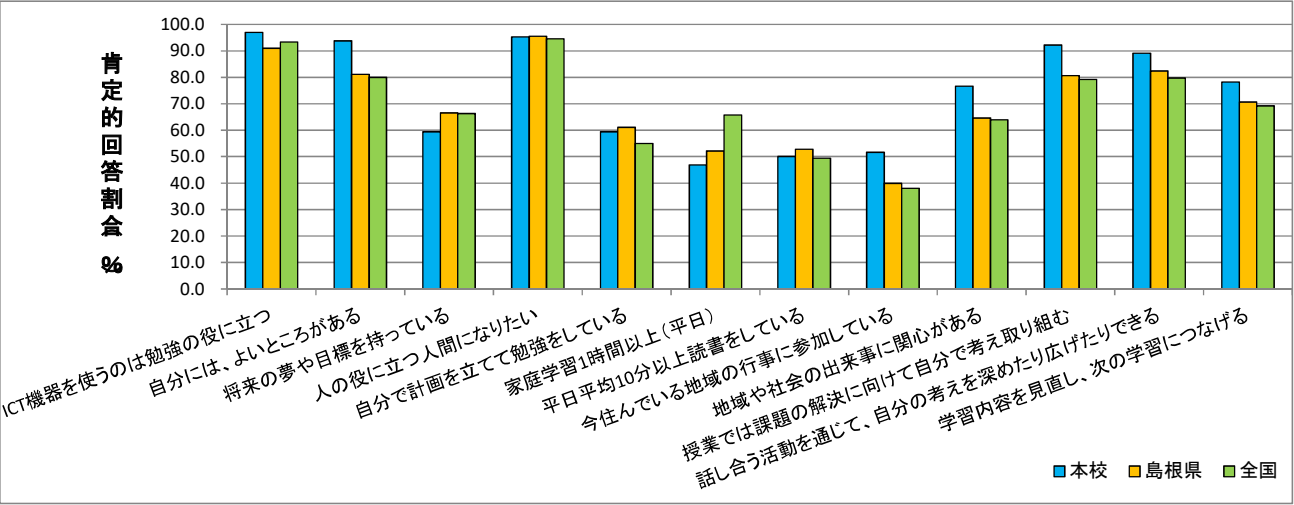
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○全ての観点で県平均や全国平均を上回っていた。 ○文章を正確に読み、根拠を明確にして自分の考えを書く力がある。 ●読み手の立場に立って文章を整える力にやや課題がある。	・読み手の立場に立って書くことを意識し、書いたものを読み合って気づきを共有し合い、自分の文章に生かせるような書く活動をする。
数学	○計算練習を増やしたことで、計算力は上がってきている。 ○きめ細かくグラフを書いたり、データを読み取ったりしてきたので問題解決しようとする生徒が増えた。 ●計算途中の不注意によるミスが多かった。 ●図形の問題に対し、イメージを持ちにくい。	・今後も計算練習をしていく。その際、計算途中の式も丁寧に書かせ指導していく。 ・文章題の中で問題内容を理解し、関係を見つけ出す工夫した練習をしていく。 ・図形については、イメージをもたせるため模型を活用したり、ワークシート等で可視化したりする。
英語	○日常的な話題や社会的な話題について、まとまりのある文章を書く力がある。また、無回答も少ない。 ●日常的な話題についての英文を読んで、概要をとらえる問いの正答率が低い。	・自分の考えを書くというような英文を書く練習時間を今後も継続して設定する。 ・英文を読んで概要をとらえる練習を行っていく。

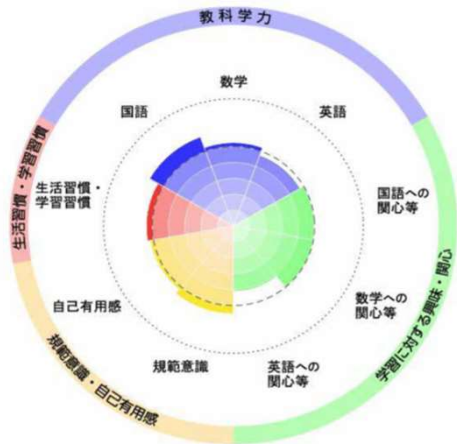
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○総合的な学習の時間において、タブレット等を利用した情報整理などができる力がついてきている。 ○自分の良いところを認める傾向が見られる。 ●将来の夢や希望に対して、ビジョンが持てていない現状がある。	・計画的な進路学習の実践を通して、進路意識の向上を図っていく。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・学習の目標と評価規準から生徒が自分にあつた目標を選択する授業を計画的に取り入れる。
・進路意識の向上を高めるためにキャリアパスポートを活用した教育相談を行う。

【受検者数】

64 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。